

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年 2月 7日

9人回答

事業所名 藤児童発達支援センターくれよんはうす

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		適切である。	指定設置基準以上のスペースが配置されている。
	2 職員の配置数は適切である	9		利用人数に対して、配置以上の人数を配置している。	指定配置基準以上の人数が配置されている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		園児にわかりやすい環境を心掛け対応している。	個々のお子さんに応じてわかりやすい手がかりを考慮し対応に繋げております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		毎日消毒し感染防止に配慮するとともに快適な生活空間づくりに努めている。	換気や日々の清拭や消毒を徹底し、感染予防対策とともに、活動に沿った場所やスペースを確保し環境整備をして取り組んでいる。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9		職員で振り返りをして参画している。	今後もより良い支援に向けて職員全員で振り返り参画していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			年度末にホームページに評価結果を公表し、業務改善に繋げております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			保護者には手紙で配布公表し、年度末にホームページにも評価結果を公表しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			業務改善につながる第三者委員会の第三者委員を選定し体勢を整えております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			今後も積極的に職員の研修の機会を設け療育の向上へ参りたいと思います。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		アセスメントツールを使用しております。	客観的な指標としてアセスメントを実施し課題整理をして計画作成に向けております。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		アセスメントツールを使用しております。	客観的な指標としてアセスメントを実施しております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9		各項目に応じて支援目標を立案しています。	発達支援、家族支援、地域支援の項目から支援目標を位置づけて計画作成しております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			一人一人の発達課題に応じて支援目標を立て支援を行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9		活動内容ごとに担当者（3～4名）を決め、担当グループで立案し、全員で共有している。	立案した内容を職員皆で検討・共有して行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		年間計画を基にしながら、子どもの実態に応じて活動内容に変化を持たせている。	お子さんの活動経験の拡大を図り、様々な体験やできるように療育活動を固定せずに取り組んでおります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9			小集団活動や、個別活動を適宜、組み合わせる計画を作成している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			支援開始前にはミーティングをして取り組む内容や方向性を確認共有して支援を行っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			夕方にミーティングができない場合は、昼の時間に振り返り共有することを実施している。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			記録をとり、客観的に振り返ることで次の支援へ繋げている。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9			支援者間や保護者とも振り返りを実施し、成長を確認した上で、計画を見直ししている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		サービス担当者会議には、児童発達支援計画の立案にかかわる担当者が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		現在はコロナ禍で一堂に会した会議等はおこなっておりませんが、連携し取り組んでいきたいと考えております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在は、医療的ケアのお子さんは利用されていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在は、医療的ケアのお子さんは利用されていません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	保護者参加の行事を実施する中で保護者同士の交流を持てるように配慮している。	併行通園のお子さんへの支援として、併行先の園に出向き、状況を把握して課題と役割を共有し支援へ繋げています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		支援内容等や園での状況等の情報を確認する機会を設けております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		関係機関と人材派遣研修を実施し、連携をとりながら、助言や研修を受けております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		現在は、コロナ禍で積極的に交流を実施できませんが、行事で交流したり、園庭の場所での交流を実施しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1		青森市の自立支援協議会の子ども部会にはまだ参加しておりませんが、今後は積極的に参加してまいりたいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		日々の保護者とのやり取りで状況を共有し、月1回の親子個別指導では、発達課題の共有と確認を行っております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9		くれよんはうすでは、定期的に親御さんとの面談を設け、お子さんとの関わり方等の助言を行い家族支援として位置付けております。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		今後も、わかりやすい説明を心がけて参ります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9		児童発達支援ガイドラインは、要約したプリントで示し計画と照らし合わせて支援目標の説明をしておりますが、今後もわかりやすい提示で行っています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		定期的に親御さんと面談を行なうほか、必要時にはすぐに相談に応じて助言を行っております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		コロナ禍で開催が中々できませんが、保護者も参加する行事等で繋がりを持つ機会を設けております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		必要時には、時間と場所を設定して相談に応じて対応しております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		会報を年4回発行し、活動や子どもたちの取り組み等の情報発信をしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		今迄同様、今後も個人情報の取り扱いには十分に留意してまいります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		今後も配慮して対応してまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2		コロナ禍で現在は行っていませんが、地域の行事や、防災訓練等に参加して施設理解へ向けて周知をする体制を整えている。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		マニュアルに基づいて様々な場面を想定した訓練を年4回以上行っております。

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		定期的に年4回以上行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		支援開始前のアセスメントで、お子さんの身体面・健康面等の把握を十分に行い確認しております。又、服薬時にもその都度確認しております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		現在は食物アレルギーのお子さんはおりませんが、配慮の必要の有無を確認し指示書への体制を整えております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		ヒヤリハットの事例集を作成し、職員間でリスクについて共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	園外研修や、全職員での園内での研修の場を設けています。	虐待防止の研修の機会を設け、子どもの理解や対応への共通確認をしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9		一連の流れや計画に乗せる体制を整えております。